



杉並区

西武新宿線沿線

まちづくり通信



発行：平成23年8月 杉並区 都市整備部 都市計画課 鉄道立体担当

西武新宿線沿線の各駅周辺地区まちづくり協議会設立に向けて、会員を募集します。



現在の沿線地域の様子

区画整理事業完了当時の様子

区内の西武新宿線沿線地域は昭和初期の区画整理事業により良好な街区基盤が形成されています。その一方で、安全な歩行者空間の不足や踏切による交通渋滞などいくつかの課題も見受けられます。

また、区内の西武新宿線は、連続立体交差事業の事業候補区間に位置付けられています。

このような背景のなか、昨年6月に西武新宿線沿線各駅周辺地区で「まちづくり勉強会」が立ち上がり、地域の皆様がまちづくり活動を始めました。

「まちづくり勉強会」では、月1回程度の活動を重ねた結果、今後、まちの課題について検討し、区へ「まちづくり構想」の提案をすることを主な目的とした「まちづくり協議会」を設立することになりました。

そこで、今後設立予定の各駅周辺地区「まちづくり協議会」では、地域の皆様の声を広く「まちづくり構想」に反映していくため、会員の募集を行います。各協議会設立に向けての取り組みについては2、3頁をご覧ください。

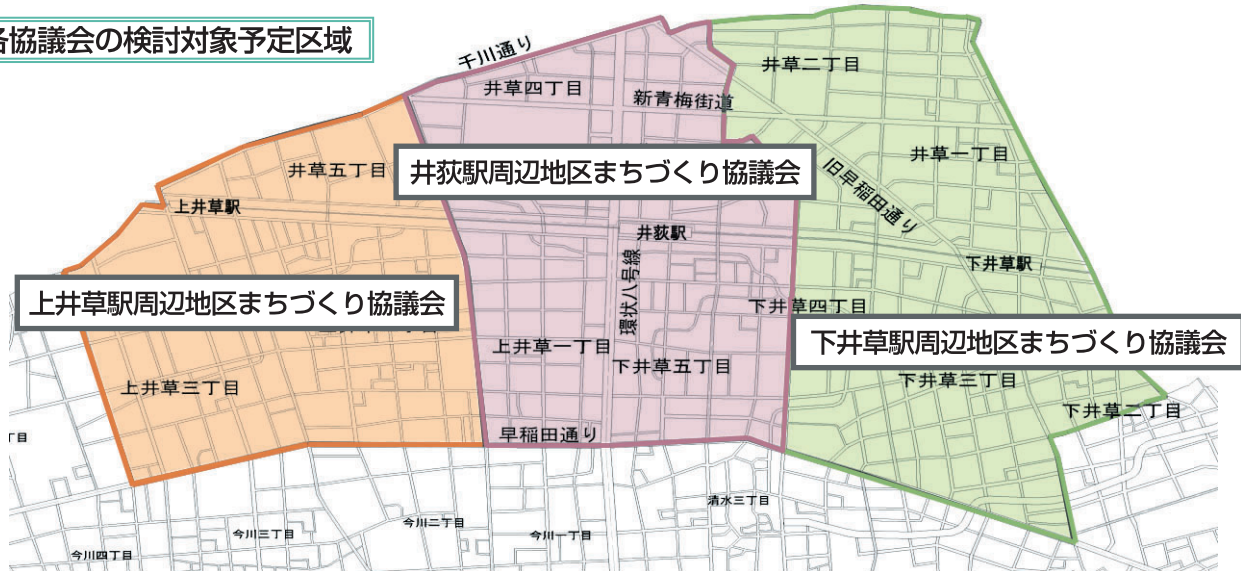
杉並区では、地域の皆様の発想を大切に、地域のまちづくり活動を支援しながら、まちづくりに取り組んでいきます。

まちづくり協議会設立に向けて



下井草、井荻、上井草、それぞれの駅周辺地区勉強会が、協議会設立に向けて取り組んでいます。ここでは、各勉強会の協議会設立に向けてのスケジュールや取り組みを紹介いたします。なお、会員募集のご案内につきましては、7月下旬から8月上旬にかけて各戸配布等を行っています。

各協議会の検討対象予定区域



下井草駅周辺地区まちづくり勉強会

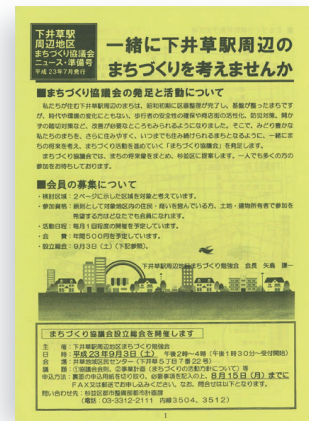
下井草のまちをもっと住みやすく、住み続けたいまちにするためには、私たち住民だけでは実現できないこともあり、住民と行政の協働でまちづくりを進めていくことが必要です。また、住民の意思がまちづくりに反映され、持続的なまちづくりを進めるためにも、私たちが『まちの将来像』を描き、区に提案することを予定しています。そのため、まちづくり勉強会の活動をさらに推進するために「下井草駅周辺地区まちづくり協議会」の設立を提案いたします。

参加者一人ひとりの下井草のまちに対する思い大切にしながら、意見を重ね『まちの将来像』を描いていく予定です。

会長 矢島 謙一

下井草駅周辺地区まちづくり協議会
会員募集のご案内

《設立総会開催予定 平成23年9月3日(土) 午後2時から 井草地域区民センター》



Q：どのように検討を進めていくの？

A：各協議会でコンサルタントの方などと、まち歩きや他地区の視察などを行い、まちの課題等を話し合うことで、そのまちにふさわしい姿（まちづくり構想）を作り上げていきます。

井荻駅周辺地区まちづくり勉強会

勉強会では、まち歩きを行うことにより、まちへの興味を持つことから始め、自慢できるよいところは大切に、課題は改善していこうという、まちづくりへの共通認識を持ちました。

私たちは、このようなまちづくり活動を通じ、まちの活気と安心安全な住環境を保つことにより、より魅力のある井荻のまちとして、次世代につなげていきたいと考えています。

できるだけ多くの方々にご参加いただき、共に考える「理想とするまちの将来像」の実現に向けたまちづくり活動を行うことを趣意として「井荻駅周辺地区まちづくり協議会」の設立を提案いたします。

会長 井口 哲次郎



井荻駅周辺地区まちづくり協議会
会員募集のご案内

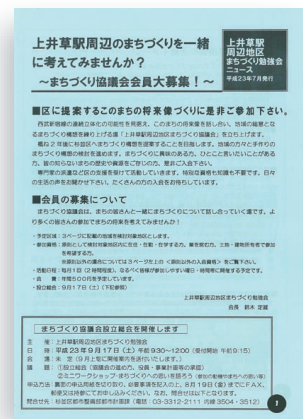
《設立総会開催予定 平成 23 年 9 月 17 日(土) 午後 2 時から 井草地域区民センター》

上井草駅周辺地区まちづくり勉強会

これからは、住民自らが進めるまちづくりを行政がサポートする時代だと言われています。私たちのまちは、一見雑然としたまちに見えるかも知れませんが、そこには、この地区にしかない優れた資産や多彩な人材が隠れているのではないのでしょうか。住民がまちづくりの担い手になる時代に、健全で持続的な発展が望めるまちづくりを進めるためには、これらの地区の資産を有効に活用していくことが必要です。そして、地区に居住する多彩な人材やこの地区に隣接する地域の多様な人々との協働と連携も必要です。

今後は、これまでの勉強会を発展させ、より多くの地域住民による「まちづくり協議会」を設置し、地域の方々の声を反映したまちづくり構想を練り上げ、区に提案してまいります。

会長 鈴木 定雄



上井草駅周辺地区まちづくり協議会
会員募集のご案内

《設立総会開催予定 平成 23 年 9 月 17 日(土) 午前 9 時 30 分から 会場未定》

Q：会員となる対象者は？

A：各協議会の検討対象区域に住む方、業を営む方、土地・建物を所有する方などです。そのほか各協議会の会則により対象となる場合があります。

Q：どうすれば会員になれるの？

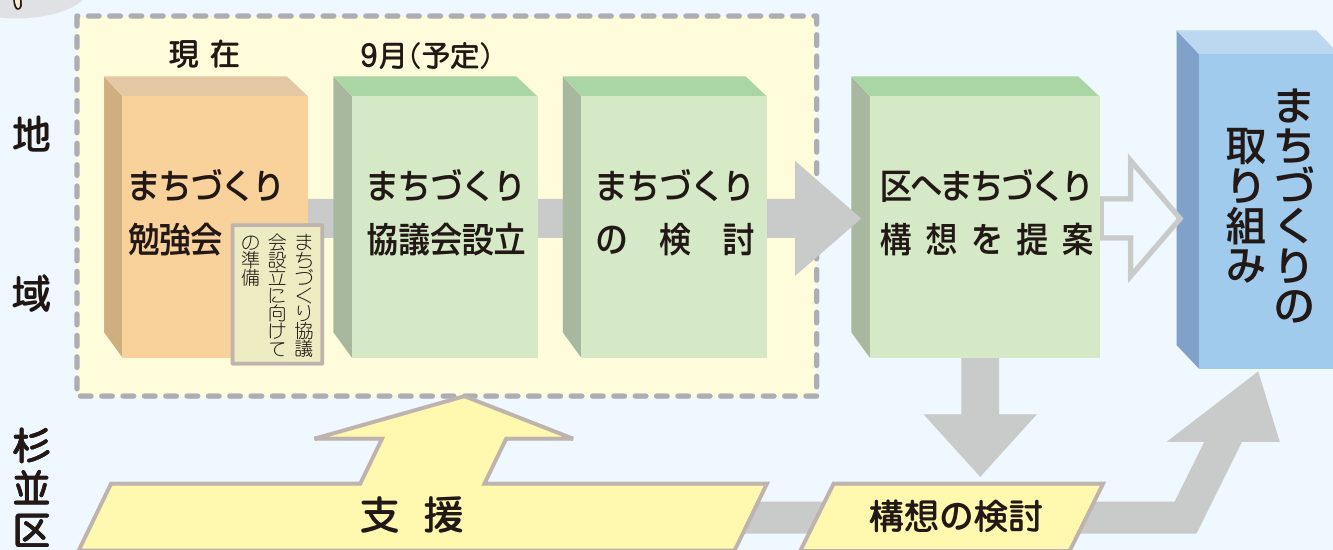
A：各協議会会員募集案内の申込書でお申し込みください。お手元に届いていない場合には、4頁の問合わせ先にご連絡ください。

※協議会への申し込みをされた方には、後日設立総会開催のご案内をいたします。





西武新宿線沿線まちづくりの進め方



沿線探訪 《井荻町土地区画整理事業と内田秀五郎》

現在の区内西武新宿線沿線地域は、江戸時代の上井草村、下井草村の北部地域にあたり、両村は、明治22年の町村制施行時に上荻窪・下荻窪村と合併して井荻村となり、大正15年には井荻町となりました。井荻の名は、明治22年の合併時に、上下井草村の「井」、上下荻窪村の「荻」をそれぞれとって名づけたといわれています。

この地域を歩いてみると、幅員4m以上の生活道路が基盤の目状に整然とはしり、敷地にゆとりのある家も多いことが窺えます。これは明治40年、若干30歳の若さで村長に就任した内田秀五郎氏の功績に由来します。

内田氏は、大正14年に井荻村土地区画整理組合を設立し、幾多の難問に遭遇しながら、不撓不屈の努力の末、地主の方々の理解を得て、昭和10年に井荻地区の土地区画整理事業を完了させたのです。

区画整理の総面積は約880ヘクタール（杉並区の4分の1相当）に及び、単一町村独自で行った事業としては、全国屈指の規模です。また、河川、橋りょう、水道・電気の整備や企業誘致等も併せて行なうなど、関東大震災後の宅地化を睨んだ先見性のあるものでした。さらに、内田氏は、昭和2年、西武新宿線（当時の西武村山線）開通の際には、町内2.4キロ間に上井草駅・井荻駅・下井草駅の3駅を開設することにも尽力しています。

当初、駅間距離から2駅設置を主張する西武側に対し、地主の方々が駅用地や線路用地を格安で提供または寄付するなどし、3駅設置に至ったとのこと。

昭和15年5月には区画整理事業の完成を記念して、井草八幡宮（旧上井草・下井草村鎮守）東参道北側の青梅街道沿いに「井荻町土地区画整理碑」が建立され、碑の表面には区画整理事業の経緯、裏面には内田氏を始め組合役員132名の名が刻まれています。

偉大な先人達が残したまちを、さらに魅力あるまちにするため、地域の皆さんで考えていきませんか。

参考文献：
杉並区史探訪 森 泰樹著 昭和49年発行
杉並区教育委員会ホームページ
「文化財案内標識板 井荻町土地区画整理碑」



開設当時の井荻駅



井荻町土地区画整理碑



問い合わせ先：杉並区 都市整備部 都市計画課 鉄道立体担当
TEL 03-3312-2111 内線 3504
FAX 03-5307-0689